

2018年度 福岡県中学硬式野球育成会活動報告

代表から

まずはじめに、この活動に多大なるご理解とご協力をくださいました皆様に心から御礼を申し上げます。お陰様で活動開始から2年目にして初めてフルシーズン（8月～3月）を無事に完了することが出来ました。創設年度（2017年11月～2018年3月）は参加者が182名（参加者平均10.1名）だったのに対し2018年度は594名（平均29.7名）と飛躍的に増加しました。中学軟式野球部の先生方をはじめ多くの方の周知協力の成果です。また、第7回育成会ドリームカップ（中学3年生だけの全国大会。沖縄）にも定員を超える21名が参加し他県の選手たちとの交流を深めたり、早稲田大学硬式野球部 小宮山悟監督を始めとするプロアマ多くの野球人の貴重な話を聞くなど貴重な機会に恵まれました。この活動に参加した子ども達、保護者、所属チームの指導者からも評価（感謝の言葉）を頂き、野球界のみならず青少年育成においてもこの活動の役割は非常に大きいと改めて感じております。今後とも引き続きご支援の程、宜しくお願い申し上げます。（代表 小林亮寛）



活動内容

- 活動期間 2018年8月～2019年3月
- 無料体験会 3回実施 8月4日（2枠）、8月18日
- 実施内容
 - ★登録者数 93名（練習会参加時に正式登録した人数）
 - ★練習会実施回数 20回（24回を企画、うち4回は天候不良による中止）
 - ★参加人数（のべ人数） 594名（1回平均29.7名）
 - ★ドリームカップ出場 選手21名 引率者4名
 - ★交流試合 島根県育成会との交流試合など
 - ★選手負担額（参加費） 平均1ヶ月5,333円（ひとり）



反省点、今後の課題

- ・ 硬式野球未経験者から「練習レベルのハードルが高い」という感想があった。
- ・ 指導者を置かないというテーマの真意が伝わりづらかった。（「認定指導者」を設置する）
- ・ 野球教室、セミナー、メディカルチェックの実施ができなかった。

選手・保護者からの感想

- ・ 硬式球が怖かったけど早く慣れることが出来て安心した（選手）
- ・ プロ社会人野球OBに教えてもらって貴重な体験ができました。（選手）
- ・ 違うチームの選手との交流で情報交換が出来てよかった。（選手）
- ・ 高校では同じチームメイトになる選手と仲良くなれて楽しかった（選手）
- ・ 引退後、週末に家でゴロゴロしてばかりだったので野球ができることで健全な生活になりました。（保護者）
- ・ 子どもたちが楽しく野球をする姿をスタンドでゆっくり見れて親も楽しかったです。ありがとうございました。（保護者）
- ・ 高校で野球を継続するか悩んでいたけど、育成会に参加しているうちにやっぱり野球が楽しいと感じられるようになった。高校でも頑張ります。（選手）



2018年度に活動へ関わった人々

主催	NPO法人ふくおかスポーツ応援隊（代表理事 吉田光寛）
運営協力	コビーズ 部活ガンバ ボールハウス
スタッフ	本松高貴（コビーズ） 小林亮寛（コビーズ） 岡村直彦（部活ガンバ） 塩手祥太、吉田光寛
ドリームカップ指導者	代表 小林亮寛（コビーズ 千葉ロッテマリーンズ他OB） 監督 高橋秀聡（ソフトバンクホークス他OB） コーチ 宮崎慎一（久留米REXパワーズ 現役選手）
キャスト	プロ野球社会人OB、中学軟式野球部顧問、 少年野球クラブチーム関係者、社会人など多数

スタッフからメッセージ



運営協力 岡村直彦（ブカツガンバ）

『高校野球への架け橋』をテーマに掲げている育成会ですが、野球を通じて社会性を学び、豊かな人生を送ってほしいという願いを込めて活動しております。短い時間・期間で伝えられることも限られていますが、彼らの成長の過程において少しでも役に立てれば本望です。また、高校野球以降も生涯野球に携わっていただき、将来的に育成会活動を引き継いでもらえたりすると嬉しい限りです。



福岡県代表チーム監督 高橋秀聡（元ソフトバンクホークス）

「野球をもっと好きになって欲しい。野球をもっと楽しんで欲しい。という想いからこの活動に参加をさせていただきました。プロや社会人を経験した今だからこそ伝えられる事があり、私自身も沢山の学びや気付きを選手達から頂いてます。また高校で野球がしたい！と思って貰えるような環境を作るお手伝いが出来ればと思っております。」



福岡県代表チームコーチ 宮崎慎一（久留米Rexパワーズ 現役選手）

「引退後の中3生に足りないものは”練習の機会”だと思います。場所さえも限られてきます。小林代表から「他県で行われてる育成会を福岡でもできないか」と提案され活動をはじめました。福岡育成会では参加している多くの野球経験者から多くを学べるようにあえて特定の指導者を置いていません。もちろん、選手から質問されれば僕自身が先輩方からご教授頂いた事やプレーする中で気付いた事などを伝えています。遠慮せずどんどん質問してください。」

2018年度の活動経費収支報告

- 収入 1,827,000円（選手登録料、参加費合計、協賛金）
- 支出 1,842,419円（保険料、球場利用料、道具備品代、審判依頼費、
協賛特典作成費、運営業務委託費、DC経費、等）
- 収支合計 -15,419円（前年度繰越金37,447円より補填）

880,000円の協賛金 ありがとうございました！

協賛協力を頂いた皆様

株式会社コビーズ 株式会社タフ 株式会社アクティブライフ 株式会社M's
株式会社ファームズ 株式会社柴田電気商会 株式会社中尾工業 ビギニング
辻塚不動産 北辰建設工業株式会社 有限会社信用モーターズ 園田クレーン
毎日リビング株式会社 地域中央開発清流庵 カルナパーク花立山
さかなやさん2 博多漢塾 部活ガンバ 和食家なかにし 一骨入魂
パンチェッタ・天の美緑 京築バスケットボールアカデミー
レンタル室内練習場ボールハウス

梅野隆太郎 青柳修平 高江隆 大村孟 谷川昌希 芦谷興里 小林周平 小林大亮
塩手祥太 稗田貴行 北原綾子 森省三 伊藤景介 松永節夫 池永光希 津田千登勢 住吉
太志 永野間一成 /順不同

